

らしんばん

身近な県政にするためには、県民とより多くの情報を共有すること。

タイトル写真左から、「7月天王祭 歴史ある町内御輿の見納め」「かぐや姫絵巻」「敬老会」

発行者 静岡県議会議員
鈴木すみよし事務所

2012年9月議会号

発行日 2012. 10. 21

1. 9月議会を振り返って(9/19~10/11)

本会議初日と最終日、傍聴席には多くのマスコミと市民団体が訪れ、いつもとは違う雰囲気の議会でした。

その主な理由は、市民団体が16万人もの県民の署名を集めた「中部電力浜岡原子力発電所の再稼働の是非を問う県民投票条例」制定の請求に対し、県はこれを受理し、県知事の意見を付けて議会に付議されましたが、常任委員会の総務委員会で集中審議し原案否決、10月11日の本会議最終日に採決、原案・修正案とも否決となりました。(詳細は、後述)

<地震・津波対策>

国は去る8月29日に最新の科学的知見に基づく、南海トラフで発生しうる最大クラスの地震による津波高、浸水域及び人的・物的被害の想定を公表した。本県は防災先進県として取り組んできた防災対策をさらに徹底することで大幅な減災が可能である。

津波の人的被害軽減は「地震だ！津波だ！すぐ避難！」が最も有効か

2. 県事業のお知らせ

① 「予算編成」

「予算編成」とは次年度1年間の収支見積または計画。編成権限は知事。議会の議決を経て決まる。9月議会頃から調整し、2月議会でも審議し決定する。



つ重要な対策で、避難対策を着実に実行していく。

<内陸フロンティア>

有事には防災拠点としての機能が確保され、平時は地域資源を活用した経営が行われる「東日本大震災の復興モデル」となる地域づくりへの取り組み。これらを実現するために規制緩和や税制・財政上の支援措置を内容とした総合特区の申請を国に対し9月28日に提出した。

この他、エネルギー、富士山世界文化遺産、地域医療再生、空港活用、地域外交、健康長寿等を審議。

<9月補正予算>

台風4号などによる被災した公共土木施設等の復旧や、防潮堤整備の基金、津波対策の調査・測量、中小企業の事業継承支援、食の都づくりの推進、静岡茶ブランドの再生・強化、保育所整備、社会福祉施設の耐震化助成などに149億7,400万円を計上・審議し、承認されました。

② 「総合計画を毎年評価“白書”」

平成22年度から概ね10年間の基幹計画。白書は自己評価・外部評価(評価部会・総合計画審議会・パブリックコメント・議会)を総合し次年度以降施策に反映するもの。



目次:

- 1. 9月議会を振り返って P1
- 2. 県事業のお知らせ P1
予算編成と総合計画白書
- 3. 所属する「産業委員会」 P2
での質問項目
- 4. 浜岡原発の再稼働の是非を問う住民投票条例審査 P2
- 5. 視察報告(海外・国内) P3
- 6. シンガポールのコンテンツ・デザインリーダー達 P4
- 7. 富士地域政策課題と進捗状況(防災等) P4
- 8. ホットなニュース P4
- 9. 県政相談窓口 P4

ハイライト:

- ・南海トラフ地震の被害想定が精度を上げて発表
- ・内陸フロンティア構想が総合特区として国へ申請
- ・静岡県の予算編成と総合計画の進捗チェック
- ・夏休み。子ども達の議会見学
- ・浜岡原発再稼働の是非問う住民投票条例の教訓
- ・アニメ・コンテンツの日本文化が海外から注目
- ・防災対策の進捗と課題



県議会を子ども達が見学。普段入ることのない議場の議員席や演壇に…貴重な体験。



議員席の名札に子ども達の名前を記して議員体験。



議長席に座って議場を一円。私はまだ座ったことがない。

夏はイベントが多い。見ているより参加が面白い！



富士まつり「かぐや姫絵巻」に官吏として白丁衣裳で参加。



今泉地区田宿川たらい流し。7月とはいえ、湧水は冷たい。



富士市代表B級グルメのつけナポ Mascot のナポリン。

3. 所属する「産業委員会」での質問項目 (●は当局答弁概要)

所管事務全般が質問対象で事前通告は無く当日開示。担当委員として自ら質問を設定。

- (1)内陸フロンティア総合特区申請の内容と今後の予定について
 - 2013年から5年計画で県内11地区の防災・地域活性化等のため規制緩和・財政金融支援を求める。9月28日に国へ申請。来年1月指定予定。
- (2)新東名高速道IC周辺の工業用地開発の現状と支援策について
 - 3市町から要請がある。企業局の新規支援策を活用していく。
- (3)農業の6次産業化を目指すための支援策(発酵茶ラボ)の現状について
 - 利用者は志太榛原地区が多く東部も参加がある。認知度を上げる広報を。
- (4)市町が行う新規工業団地開発における企業局の支援策について
 - 新規事業で市町が行う開発可能性基礎調査・カタログ作成などを支援。
- (5)景気低迷における工業用水事業の見直しについて
 - 東駿河湾工業用水など二部料金制を導入したが景気低迷は大きな課題。

4. 浜岡原発の再稼働の是非を問う住民投票条例審議経過と私見

採決は65名の県議による無記名投票が行われ、条例原案では、賛成0、反対65名で全員が否決しました。修正案は一部の議員有志が提出し、原案での問題点を修正したのですが、原案29条中6条が修正を免れましたが、8割を修正したもので、この大幅な修正も署名者の意志に基づくかどうか争点の一つとなり、結果、賛成17名、反対48名で否決となりました。

ある報道は、賛否の状況を自民が反対、民主が賛成という構図で結果を解説していましたが、反対48名中、自民は36名でその他12名は民主であり、政党間の見解の相違ではありません。

今だから言えますが、この条例案が県議会に上程されると決まった頃から、各会派の親しい議員達と意見交換をしましたが、政党にこだわらず、様々な意見があったのは事実です。私の所属する自民改革会議であっても同様で、最初から結論ありきではありませんでした。議員一人ひとり、それぞれの立場で、様々な視点からこの問題に正面から取り組んでいたと信じています。その様子を県民の皆様とどう共有すべきだったのか、多くの反省を残しました。

私は、原案、修正案とも反対に投じました。会派で何回も開催された勉強会でもそれに到った意見は申し上げてきました。それらを尊重し集約した上で、会派としての方向性が出されたものと確信しています。

現状認識として、少し付け加えをさせていただくとすれば、浜岡原発は全て停止中です。今ある情報の中で判断するとしたら、「再稼働」は無理です。「安全性」についての科学的根拠が示されておらず確証がないからです。

私見ですが、エネルギー政策(基本)は国の責任で決めることが望ましく、原子力発電所は当然その中に含まれます。

福島第一原発事故のような状況は絶対に避けるべきで、そのリスクを回避するために原発廃止は一つの対処方法です。一方で、初期の原発が稼働して約40年経過し、国力を高め支えてきた原発の存在も事実です。福島第一原発事故の影響により、ドイツを始め多くの国が原子力発電の見直しや方向転換をしています。

しかし、中国のようにむしろ増設を目指す国もあります。国際競争力において様々な状況に対処しうる可能性を見極めるためには、0か100ではない余地を残すことも必要で、その余地は地方での判断よりは国が全体を見渡しなが、安全を最優先に考え



どこの原発を残し、どこを廃止するのか、科学的な根拠を元に選択することが現実的ではないでしょうか。そのような判断と責任を地方の住民に負わせることが最善とは思えません。

また、エネルギー転換は国だけで実現できるものでなく、国民の理解と行動が必要不可欠です。そのためには国民がエネルギー政策にどう関わっていくのか、国民の意見を求めていくことは重要です。その意見の元になる情報を解りやすく伝え、判断いただくことが基本であると考えます。

再稼働の是非について議員はもちろん、県民の皆様が判断できる状況、環境が整う時期が来れば、今回のような手続きを含め、何らかの手段で県民の理解できる手法で、方向性を決めていければと考えています。

今議会で、この条例を直接請求された市民団体と署名された16万余の県民の皆様の行動は、否決されたとはいえ多くの課題を県議会に投げかけた、大変貴重なものであったと心に刻んでいます。

今回の経験を生かし、一県議会議員として、県議会として県民の皆様に随時、適切な情報発信と意見収集に努め、改めて県民代表である自覚と謙虚さを実現する、スタートとしなければなりません。

5. 視察報告

●海外視察(シンガポールコンテンツ産業の現状調査。海外で注目される日本文化を伝える日本人)



在シンガポール駐日大使館の山本公使。シンガポールの現状(クリエイティブ産業・日本食・環境技術等)の説明をされた。



シンガポールでは日本のアニメやコンテンツがブーム。英国で活躍中のクリエイター静岡県出身久米・大森氏と懇談。



(財)自治体国際化協会のシンガポール事務所訪問。全国の自治体とシンガポールの橋渡しを行う。



在シンガポール大使館の一部ジャパンクリエイティブセンター(JCC)。日本文化の発信拠点。展示物はアニメが中心。

●国内視察(駐日ベトナム大使館と県内産業の現状)



駐日ベトナム大使館を訪問。大使夫妻と約1時間会談。11月から2月にかけて静岡県とベトナム友好交流の助言を得る。



産業委員会の県内視察で、あさぎりフードパークを訪問。富士宮特産の食品において製造から販売までの過程を見学。



牧ノ原台地にある県茶業研究センター「発酵茶ラボ」の開所式。副知事と県茶業会議所代表による施設の稼働式。



富士山南麓の林業の現状を視察。高効率機械で伐採・運搬も速やかに。木材消費が進めば林業も活性化する。

●研修(ファルマバレーへの期待・県防災対策・国策としてのエネルギー政策・児童福祉施設50周年)



サンフロント21懇話会における研修会。先端医療産業への積極的な参加が地域経済を活性化する。普及余地は十分。



県危機管理担当者から「日本一防災県」としての取り組みの現状と課題を学ぶ。基本をしっかり捉えれば不安減少。



国策としての総合エネルギー政策を衆議院議員から聞く。福島第一原発事故を契機に原子力政策のあり方を学ぶ。



情緒障がい児対策に取り組む県立吉原林間学園は設立50周年を迎えた。ここでの取り組みとデータが各方面で活用。

6. シンガポールのコンテンツ・デザイン分野を牽引するリーダー達



シンガポールのデザインに関する国家的窓口「Design Singapore Council」。ものづくりの基本はデザインで日本の「Gマーク」を学べが目標。



ラサール芸術大学のデザイン学部長(右側)とスタッフ。現代芸術であるデザイン・ファッション・造形美術・メディア・ダンス・音楽・演劇等を教える。



13歳～18歳までの芸術に関する英才教育学校(SOTA)の副院長。シンガポールは「数学」と「科学」は世界トップクラス。次は芸術分野を開拓へ。



シンガポール現代芸術の先駆者であるJackson Tan氏。デザインをはじめとする現代芸術に関する施策において、政府への影響力は大きい。

7. 富士地域政策課題と進捗状況(防災訓練・津波タワー・事業縮小・調整池・放水路・新設道路)



「防災の日」の各地での防災訓練。毎年繰り返される光景だが、新たな防災計画の見直しとより実践的な取り組みが重要。



吉原駅南側の避難タワーから隣接する田子の浦埠頭を臨む。こんなのかな風景も津波で一変するのだろうか。



田子の浦港東側にある石油基地への搬入口埠頭とタンカー。奥の煙突は9月末で停止した製紙会社で現在は煙が消えた。経済活性化が急務。



江尾江川の中流にある調整池。豪雨時の解消策として設置。11月に完成予定だが、6月から暫定運用しこれまでの間、数回の豪雨で機能発揮。

8. ホットなニュース

◆ 富士地域における内陸フロンティア総合特区申請

富士地域の指定申請内容は「新富士IC周辺における物流産業の集積と観光拠点の創出」。「内陸部のイノベーションモデルの創出」と定義され、平時から防災拠点機能と農林業振興で域内自給力を確保。地域資源+新東名で物流や食と農のビジネス(新たな産業)拠点を目指す。しかし、防災の観点から、現存する企業の流出を防ぐ受け皿は見えてこない。積極的な市の関与ならびに県との連携を期待する。



昭和放水路の北側。設置後50年近くで老朽化が進む。現在は灌漑専用だが、設置替え時は防災機能付加を期待。



富士岡から須津地区までの北部を通る広域農道。完成まであとわずか。来年7月に供用開始。次の課題は交通渋滞。

◆ 中国浙江省と友好提携30周年事業は開催へ

今夏、中国と日本は尖閣諸島問題で国交が揺れている。その收拾の目途は立たず、国は国交樹立40周年、静岡県は浙江省友好提携30周年を迎えた。県はこの4月に静岡県で記念事業を開催し、11月に浙江省で開催予定だった。様々な理由で11月開催が延期になり、原稿締切間際、12月下旬に規模を縮小し開催する予定が知らされた。

◆ 9月議会で決定した国へ提出される意見書

- ① 南海トラフ巨大地震対策の推進を求める意見書
- ② 緊急事態基本法の早期制定を求める意見書
- ③ 肺炎球菌ワクチンの定期予防接種化に関する意見書
- ④ 外国資本等による土地売買等に関する法整備を求める意見書
- ⑤ 税制抜本改革の確実な実施を求める意見書
- ⑥ 35人学級編成を実現するための教員定数改善に関する意見書

9. 県政相談窓口

「県政相談窓口」とは、道路・河川等の整備の他、地域の課題についてご相談を承ります。

市と県、国の担当範囲が明確でない場合もありますが、こちらで調査いたしますので、区別なくお気軽に問い合わせ下さい。

ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関に確認し、その可否についてもご返事いたしますが、お時間がかかることもありますので、ご容赦下さい。



発行者 静岡県議会議員
鈴木すみよし事務所

県政相談窓口および「らしんばん」発行者連絡先
富士市比奈1418番地の2

Tel 0545-34-0683

Fax 0545-38-0070

メールアドレス: hi mena@tokai.or.jp

ホームページ: <http://sumiyoshi.info/>

ブログ: <http://blog.goo.ne.jp/sumiyoshi1956/>